

地域計画策定に係る目標地図(素案)作成の取組について

長崎県雲仙市

認定農業者等数

2,239 経営体

農地面積

4,780 ha

主な農畜産物

稲作、露地野菜

地域の現状・課題

雲仙市においては、これまで「人・農地プラン」については、積極的に取り組んでおり、令和4年度末で市内の9割の農地をとりまとめた71集落が形成されており、地域の話合いに基づくものとして実質化も終えている。

また、令和4年度において、地域計画策定先行モデル事業の実施結果として、調査を実施する前の事前準備にもかなりの手間と時間を要し、借受希望農家を発掘し、集積まで到達したとしても、担い手への集約化までは年月をかけて長期的に取り組む必要がある。

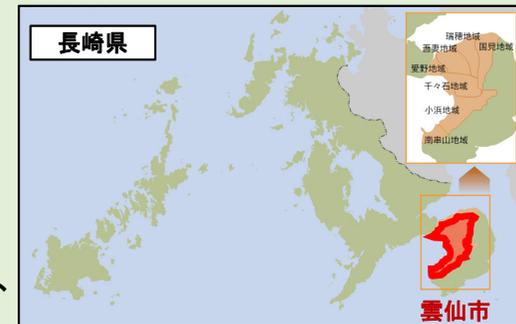
しかし、令和5年度からの2年間で、この71集落の全てを、地域での話合いによる農地の集約化に取り組み、地域計画としてまとめ上げるには、現状の人員では到底時間が足りない。

取組概要

令和5年度の地域計画雲仙市推進チーム会で協議検討し、次のとおり本市の方向性とした。

【雲仙市の方向性】

令和2年度の農地利用最適化アンケート調査において、10年後の農業経営の意向及び農地活用について、市内在住の約9割の農業者から回答を得ているので、その結果を活用して、“粗々”の目標地図(素案)を作成することとし、7年度以降で段階的に農地集約化を図り、素案の精度を上げていく。



目標地図(素案)作成への取組

農業委員会において、目標地図(素案)を作成するにあたっての取り決め。

- ①サポートシステムにより目標地図(素案)原案を作成。
- ②令和2年度の農地利用最適化アンケートの意向調査の結果を活用し、規模拡大、現状維持、規模縮小、継続困難、廃業予定を色分けし地図に反映。
- ②地域計画のエリアは、旧町単位(7地域)
- ③目標地図(素案)のエリアは、大字単位(69地区)
- ④地図の縮尺を2,000分の1を基準以上を踏まえ、作図に取り組む。

今後の取組方針(予定)

農林課において、地域の協議の場を設け、農業委員会と連携し、地域の話合いに基づくものとして、「廃業予定」、「継続困難」に加えて、「未回答」の農家の農地について、将来の耕作者を決めていくこととし、それ以外は現耕作者を受け手とする。

また、令和5年度は、手始めに市役所本庁がある吾妻地域から協議の場を設け地域に入っていくこととする。

意向を反映した目標地図(素案)の原案

